

熊本公德会 機関誌37号

講演要旨など収録



第17回公德賞 熊本公德会設立75周年記念講演会
人口減少、高齢社会において、
住みながらの場所に住み続けるために
「健康づくりは、野郎」から
「元気な生活の基本として」
熊本徳会（熊本大学） 熊本徳会センター（熊大）
いつまでも元気で明るく
「健康長生きいきいき講座」を開催
ここをこの時代を生きるために（2019年度後援校）
第16回「公德文芸賞」の入賞作決まる
◆熊本徳会（熊本大学）が主催する「公德文芸賞」は、
◆熊本徳会（熊本大学）が主催する「公德文芸賞」は、
◆熊本徳会（熊本大学）が主催する「公德文芸賞」は、
◆熊本徳会（熊本大学）が主催する「公德文芸賞」は、

「公德37号」の表紙

会に申し込む。同会
096(327)26
00。

社会教育の充実や青少年の健全育成に取り組む一般財団法人・熊本公德会は、機関誌「公德37号」を刊行した。同会設立75周年を記念した講演会（熊日など主催）の要旨や第16回公德文芸賞の入賞作などを収録している。

社会福祉学部の仁科伸子教授は、高齢者が住み慣れた場所で健康に暮らすためのポイントを解説。社会的なつながりを持つことや、誰かと一緒に食事したり筋トレに励んだりすることの大切さを語った。

に筋力を蓄える「貯筋」について、具体的なトレーニング方法などを紹介している。機関誌は年2回発行。県内の小中高校と特別支援学校、公立図書館などに無料配布する。希望者は送料として切手215円分を添えて、〒860-0845、熊本市中央区上通町2の31、熊本公德

講演要旨は全10回のうち、6回目と8回目の2回分。熊本学園大

崇城大総合教育センター講師の阪本達也さんは、健康を保つため

通町2の31、熊本公德